

# 東京後楽ロータリークラブ週報

The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



ロータリーは  
世界をつなぐ

「3Cで、新たな時代を創ろう」  
～Chance・Challenge・Change～  
「ロータリーは世界をつなぐ」

2019年～2020年度 会長  
中村 才博

2019年～2020年度 国際ロータリー会長  
マーク・ダニエル・マローニー

ロータリー親睦活動月間

2020年6月16日発行 (No.943)

## 第943回 例会 「クラブフォーラム」

### CLUB NEWS

- ◆ 第2760地区〔愛知県〕から提案の「フェイスシールド寄贈プロジェクト」に第2580地区も参加を決定し、当クラブも36,000円の寄付を致しました。新本ガバナーから、その結果報告とお礼状が届いております。

『フェイスシールド寄贈の件、各クラブから

4,599,300円のご支援をいただきました。

地区補助金より905,080円を拠出し、合計

5,504,380円にてフェイスシールド44,160個

(東京37,440個、沖縄6,720個)を購入いたしましたのでご報告いたします。

ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

また、東京都医師会と沖縄県医師会からお礼状が届いております。』

- ◆ 国際ロータリー本部より、6月のロータリーレートは、1ドル108円との連絡がありました。

### MEMBER'S NEWS

- ◇ 3月お誕生日おめでとうございます！

佐藤健一会員 財津康弘会員

金子会員ご主人様 菊池会員奥様

志熊会員奥様

- ◇ 4月お誕生日おめでとうございます！

久保田俊一会員 住田直子会員

工藤研会員 山田幸雄会員

鄭会員奥様 新聞会員奥様

小川会員奥様 知花会員奥様

- ◇ 5月お誕生日おめでとうございます！

藤田哲朗会員 山田聖子会員

中村才博会員 尹世玲会員

知花孫光会員 富成明彦会員

山下会員奥様 住田直会員ご主人様

本多会員奥様

木村真理子さん(青少年交換派遣学生)

◇ 6月お誕生日おめでとうございます！

森蔭政幸会員

榎戸会員奥様

菊川会員奥様

寺田会員奥様

小出会員ご主人様

甲斐会員奥様

### 前回例会

第942回例会

「地区大会報告会」

### 出席状況

第939回例会

出席 30名 欠席 15名

ビジター 0名 ゲスト 1名

永田雄治氏(春日部西)

出席率:78.57% 前例会修正後:80.49%

### ニコニコBOX

永田雄治氏(春日部西):本日はメイクアップよろしく  
お願いします。

お茶飲み会:

ミリオンマイルズ:1,296円 本年度合計:731,245円

### 例会案内

6月23日 「次年度委員長の計画発表」(予定)

6月30日 「ハンマータッチ」

当クラブでは「新型コロナウイルス緊急事態宣言」発動前後(3月～5月)の例会は、会員の安全確保、政府からの外出自粛要請などへの積極的協力、また8条会合第一節(c)に基づき、休会致しました。また、6月からは2日の理事会と9日にWEBミーティングを開催致しました。

TEL: 03-5940-3355 FAX: 03-3947-4010 E-Mail: koraku@mint.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話: 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株)別館内

会長 中村才博 / 幹事 本多信行 / 会報委員長 木津久徳

URL <http://www.korakurotary.com>

# 第937回 例会卓話「職業奉仕委員会・事業承継について」

職業奉仕委員会 委員長 小出 理恵子 会員

職業奉仕とは「職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台になっている」  
「職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることで」今年度は事業承継がテーマです。

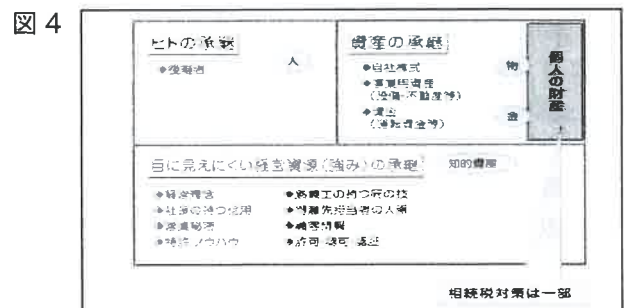
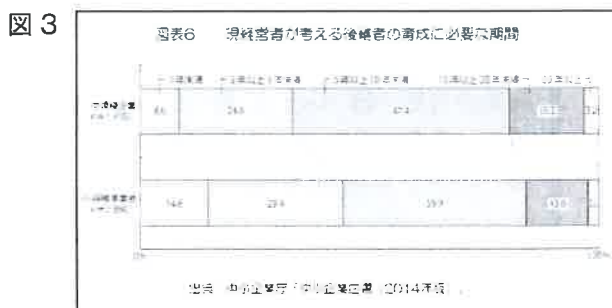
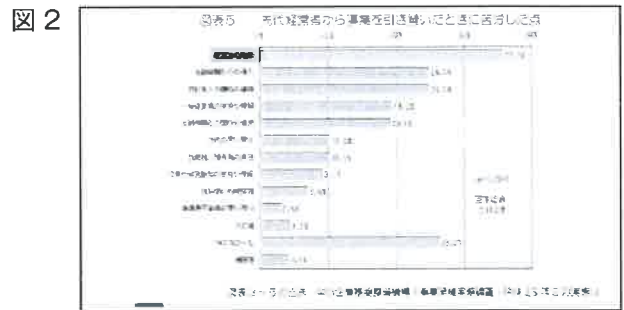
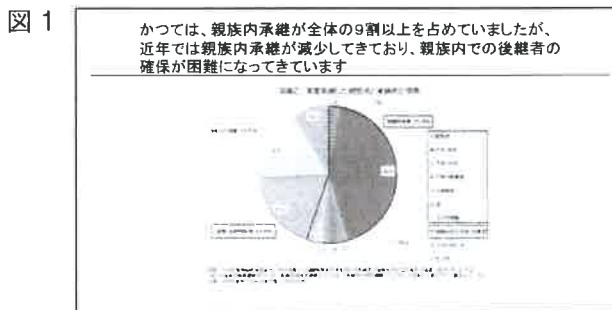


私の事業承継に係る自己紹介をさせていただきます。私は現在、電気工事会社の2代目経営者です。父77才、私は46才で会社を継ぐべく入社しました。私はマーケティングの専門会社で仕事をしてきた経験があり、経営や会社づくりには興味がありました。決算内容も悪くないし、社員は皆良い人だし、しっかり会社を成長させよう、と決意して引き継ぐことにしました。そして、今、60才で代表を引退するつもりでおり、現在、3代目に継承すべく計画を策定中です。3代目に選んだのは父に、「会社を継ぐ人を身内から出してほしい」と訴えた社員、現在は取締役です。ですから、私は継承1で親子間。継承2で親族外の承継を計画中です。

昔は親族内継承が9割以上でしたが、最近は親族内は55%半分強で、役員、従業員への継承が2割ぐらい。そして最近では社外への継承が16.5%と伸びています。社外、つまりM&Aということになります。お金のなことでは、通常の株価よりもかなり高い金額で買い取ってもらえるのが一般的なようです。【図1】  
引き継いで苦労したことのトップは「経営力の発揮」。経営力とは漠然としているけれど、業績拡大のための力。そこには、取引先との関係維持の問題や資金繰りや銀行とのやり取り、従業員との信頼感の醸成など、いろいろなことがあるかと思えます。【図2】

後継者育成に必要な時間は5年から10年が一番多いです。決して1年、2年でできることではありません。【図3】

中小零細の会社の代表は少なくとも5割、できれば7割の株を所有することが望ましい、と言われていています。事業承継を計画する中では、会社の有利子負債をできる限り整理することが事業承継をしやすくするために重要なことだと思われれます。【図4】



事業承継税制が今後10年間に渡って大きく拡充されます。